東福保育園　　3歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	デカルコマニー技法を使って色を探究する

2025年　　9月　　2日（火）

子どもの姿	・日頃の遊びから絵の具で遊びたいという言葉が出てくるようになった。 ・物や形に興味を示す子が多い。
「問い」を考える	・デカルコマニー技法で絵の具の模様や色合いを見てどのような反応を示すのか。
活動をデザインする	・絵の具をつけて折り畳んだ画用紙を子どもが開くようにし、その時の驚きや喜びを共有する。
環境をデザインする	・様々な太さの筆やスプーンを用意し、好きな絵の具を好きな量で描ける（垂らし落とせる）ようにする。
小グループを構成する	・一人ひとりのことばや表情から気づいたことや驚いたことに共感し、思ったことや感じたことを言えるようにする。
振り返り	今回はデカルコマニー技法で絵の具遊びをした。筆の他にもスプーンで絵の具を垂らし落とすなど様々な模様をつけて楽しむことができた。始めは同じやり方で作ったKも、次には自分でどのようにしたら紙いっぱいに鮮やかな色が出るかを考えて絵の具や道具を選んで遊べていたので、時間にゆとりを持てたことと、子どもが満足するまでできるように配慮することの大切さを改めて感じた。色鮮やかな発色を楽しめたので、これからの秋の移り変わりにも気づけるような言葉かけをしていきたい。

子どもの言葉・姿	写真
≪好きな色の画用紙を選び、絵の具を乗せる≫ J…「ぼくは青にする。海みたい」 KとTはそれを見て、Jと同じ青を同じ筆にとって描く。 A…「Aは全部の色にする。（赤い円を指さして）先生いちごみたい！」 ≪Aが折り畳んだ画用紙をそっと開く≫ A…「みて！先生」 保…「わあ！」 A…「すごいでしょ、全部やったら虹色になった！」 ≪それを見たKが「先生、もう一回やりたい」と言って再び新しい画用紙に描き始める。≫ K…「今度は水色とかピンク…」 そう言って、今度は自分で色を選び太い筆やスプーンを使いながら絵の具を乗せる。 ≪Kが折り畳んだ画用紙をそっと開く≫ K…「先生、できた！」 保…「できたね！」 K…「こっちの方がたくさんできた。虹色じゃないけどね、小さいのもできた！」	